

指定管理業務点検・評価シート（令和4年度業務）

令和5年11月7日

施設名	とっとりバイオフィロンティア	所在地	米子市西町86番地
施設所管課名	商工労働部産業未来創造課	連絡先	0857-26-7690
指定管理者名	公益財団法人鳥取県産業振興機構	指定期間	平成31年度（令和元年度）～令和5年度

1 施設の概要

設置目的	バイオ産業の集積の形成及び活性化を図り、県内産業の振興に寄与する。
設置年月日	平成23年4月1日
施設内容	○建築面積：1,260.84㎡ ○施設内容：研修室1、機器分析室1、遺伝子実験室1、細胞実験室1、実験室4、居室4、動物飼育室4、管理室1、オープンラボ1
利用料金	（別表のとおり）
開館時間	午前9時～午後5時 ただし、セキュリティーカードを使用することで、開館時間外の利用も可能な場合あり。
休館日	○日曜日、土曜日、国民の祝日 ○12月29日～1月3日 ただし、セキュリティーカードを使用することで、休館日の利用も可能な場合あり。

2 指定管理者が行う業務

委託業務の内容	○施設設備の維持管理に関する業務（施設設備の保守管理、修繕、清掃、保安警備等） ○施設設備、機器の利用の許可、利用料金の徴収等に関する業務 ○その他施設の管理運営に必要な業務（利用者の受付・案内、付属設備・備品の貸出、利用指導・操作、利用者へのサービスの提供、施設の利用促進、その他施設の管理運営に必要な業務） ○利用者の研究開発・事業化の支援に関する業務（相談・問い合わせへの対応、情報収集・情報提供、産学官連携の推進等） ○バイオ産業に従事する専門的な人材の育成に関する業務
---------	---

3 施設の管理体制

管理体制	無期職員：3名、任期付職員：5名〔計8名〕
	<p>【体制図等】</p> <p>施設長（任期付職員、機構バイオフィロンティア推進室室長兼務）</p> <ul style="list-style-type: none"> — チーフスタッフ（無期職員） <ul style="list-style-type: none"> — 総務管理担当スタッフ（任期付職員） — 機器担当スタッフ（無期職員） — 会計担当スタッフ（任期付職員、機構本部駐在） — 事業推進コーディネーター（無期付職員） — 人材育成コーディネーター（任期付職員） — 研究支援コーディネーター（任期付職員）

4 施設の利用状況

利用者数（人： 貸実験室等入居 者含む）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4年度	2,387	2,374	2,417	2,269	2,050	2,161	1,979	1,840	1,892	1,860	1,719	1,855	24,803
	3年度	1,945	2,093	2,115	2,153	2,263	2,220	2,387	2,380	2,388	2,292	2,181	2,486	26,903
	増 減	442	281	302	116	△ 213	△ 59	△ 408	△ 540	△ 496	△ 432	△ 462	△ 631	△ 2,100

利用料金収入 （千円）		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	4年度	1,466	1,264	1,052	1,148	1,024	993	1,094	1,428	1,200	1,110	1,380	1,106	14,265
	3年度	1,503	1,243	1,378	1,303	1,423	1,464	1,509	1,474	1,433	1,404	1,386	1,354	16,874
	増 減	△ 37	21	△ 326	△ 155	△ 399	△ 471	△ 415	△ 46	△ 233	△ 294	△ 6	△ 248	△ 2,609

5 収支の状況

（単位：千円）

区 分		4年度	3年度	増 減	
収入	事業収入	賃借料	7,896	8,519	△ 623
		機器使用料	3,126	3,541	△ 415
		その他	385	231	154
		小 計	11,407	12,291	△ 884
	事業外収入	光熱水費 動物飼育管理料負担金収入	3,247	4,803	△ 1,556
		自動販売機手数料	71	88	△ 17
		受取利息	0	0	0
		県委託料	71,441	64,829	6,612
		小 計	74,759	69,720	5,039
		計	86,166	82,011	4,155
支出	人 件 費	29,462	28,834		
	管理運営費	56,704	53,177		
	計	86,166	82,011	0	
収 支 差 額		0	0		

6 労働条件等

確認項目		状況			備考
		無期職員	任期付職員	任期付職員 (本部常駐スタッフ)	
雇用契約 ・ 労使協定	労働条件の書面による提示	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	就業規則、任用条件 通知書	※書面の名称を記入
	就業規則の作成状況	有	有	有	※常時10人以上の労働 者を起床する場合は作 成、届出が必要
	労使協定の締結状況	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	時間外労働及び休日労働 に関する労使協定	※労働基準監督署長へ の届出が必要な協定の有 無
労働時間	所定労働時間	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	7.75時間以内/日、 38.75時間以内/週	※幅がある場合は上限、 下限を記入
	時間管理の手法	自己申告	自己申告	自己申告	※タイムカード、ICカード、 自己申告、使用者の現認 などの別を記入
	休暇、休日の状況	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	休暇：年20日 休日：毎週土・日曜日、 国民の祝日	※幅がある場合は上限、 下限を記入
給与	給与金額	228～333千円/月	219～308千円/月	178千円/月	※平均月額を記入
	最低賃金との比較	適	適	適	※適否を記入
	支払い遅延等の有無	無	無	無	※有無を記入
安全衛生	一般健康診断の実施	年1回実施			
	産業医の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり
	衛生管理者の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※規模の要件あり
	安全衛生推進者（衛生推進者）の選任	選任の要否：否	選任状況：選任なし		※業種・規模の要件あり

(参考)

- 労働基準監督署長への届出が必要な労使協定の例（労働基準法に基づくもの）
 - ・労働者の貯蓄金をその委託を受けて管理する場合（労働基準法第18条）
 - ・1ヶ月単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の2 就業規則に定めた場合には届出不要）
 - ・1年単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の4、第32条4の2ほか）
 - ・1週間単位の変形労働時間制（労働基準法第32条の5）
 - ・時間外労働・休日労働（労働基準法第36条 いわゆる「36協定」）
 - ・事業場外労働のみなし労働時間制（労働基準法第38条の2 事業場外労働が法定労働時間内の場合は不要）
 - ・専門業務型裁量労働制（労働基準法第38条の3）

○各種管理者等の業種・規模に係る要件（労働安全衛生法に基づくもの）

種別	業種	規模（常時使用する労働者数）
産業医	全ての業種	50人以上
安全管理者	林業、鉱業、建設業、運送業、清掃業、製造業（物の加工業を含む。）、電気業、ガス業、熱供給業、水道業、通信業、各種商品卸売業、家具・建具・じゅう器等卸売業、各種商品小売業、家具・建具・じゅう器小売業、燃料小売業、旅館業、ゴルフ場業、自動車整備業及び機械修理業	50人以上
衛生管理者	全ての業種	50人～200人（1人選任）
		201人～500人（2人選任）
		501人～1,000人（3人選任）
		1,001人～2,000人（4人選任）
		2,001人～3,000人（5人選任）
		3,001人以上（6人選任）
安全衛生推進者	安全管理者と同じ	10人以上50人未満
衛生推進者	安全管理者の選任を要する業種以外の業種	10人以上50人未満

7 サービスの向上に向けた取組み

区 分	取 組 み 内 容
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBセミナーの開催が主流となり、ニーズに即したテーマの講演を遠隔地の講師に依頼できた。 ・当日参加できない場合や、繰り返し視聴を希望する受講者への要望に応え、期間限定のアーカイブ視聴を可能とした。 ・受講者の参加人数は前年度に比べ約2倍増となった。 セミナー 開催数 21講座（内、1回は機器PRセミナー） 受講者数 延べ1,459名（アーカイブ視聴も含む）（前年度：618名） ・バイオビジネス実践講座では次のベンチャー創業を促すセミナーを企画し、個別相談会を開催。教職員のみならず鳥大生の参加もあったことから、今後もアントレプレナーに関する講座を開催して行きたい。 ・入居者のリクエストに応え、生命科学系研究者のための生物統計セミナーをシリーズで企画。受講者に大変好評で100名以上の応募があった。 ・県内高校（米子東高校、湯梨浜学園、鳥取東高校）から授業の一環として依頼された体験学習を実施し、とっとりバイオフロンティアの事業紹介や施設見学も併せて実施した。 ・とっとりバイオフロンティアが主催する高校生向けワークショップ「抗体抗原反応で卵アレルギーの原因物質を探ろう」についても好評を博した。
設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・県予算により9機種の機器の更新し、機器の機能が向上し利用促進に繋がった。 ・実験機器については日常点検等を行った上で、不調等が確認された場合は直ちに設置業者またはメーカーによる対応を行った。 ・職場巡視、化学物質管理委員会、化学物質セミナーを実施し、入居企業や開放機器利用者への化学物質の取扱い、及び実験環境の整備推進を行った。 ・動物飼育室の微生物モニタリングを定期的に行い、SPFグレード相当の品質保証を行った。また遺伝子組換え実験安全委員会、及び動物実験委員会の運営を行い、コンプライアンスに沿った実験施設運営を行った。 ・施設の老朽化に伴い、屋上、階段室の防水改修工事を行った。
事業化支援	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオ分野の動向（JBA創業モダリティ基盤研究会等）やニーズを調査し、入居企業の事業推進に役立つ情報を適宜フィードバックし、事業支援を行った。 ・MEDISO（株）三菱総合研究所、厚生労働省委託事業の共催）で、とっとりバイオフロンティア入居者セミナー&出前相談会を実施することで入居企業の事業支援を行った。入居者セミナーでは、鳥取大学染色体工学研究センター教授の講演、入居企業の事業PRを兼ねた講演を行った。出前相談会には、MEDISOによる専門相談員により入居企業に向けた相談会を実施した。 ・企業設立についての相談に応じ、定款作成から法務省での登記手続き並びに税務関連の手続きについて説明を行った。 ・バイオ系専門展示会への共同出展を3回実施し、販路拡大支援を行った。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページコンテンツを拡充し、とっとりバイオフロンティア沿革・施設の目的・概要、利用料金、人材セミナー情報およびメール登録システム等、最新情報を提供した。 ・「とっとり県民の日フェア」でとっとりバイオフロンティアのパネル展示（県内、東部1カ所、西部1カ所 計2カ所）を行った。 ・とっとりバイオフロンティア内の実験室の撮影や環境水を使った環境DNAの実験、入居企業のインタビュー等が地元ケーブルテレビ放送局、及びYoutubeで番組配信された。 ・地元ケーブルテレビニュースでのインタビュー出演し、科学ワークショップの取組等についての紹介を行った。

8 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法	利用者の要望、意見については5月～6月に行った入居企業ヒアリングでの聞き取りや、日々、利用者とのコミュニケーションを図り、要望への対応、課題の解消に努めた。
------------	--

利用者からの苦情・要望	対応状況
取引製薬メーカーから分析データの品質管理を求められている。データの信頼性維持のため、古くなっている機器の更新をして欲しい。	令和4年度に更新機器を導入した。
国際的なバイオ医薬品の開発の方向性とビジネス動向についての図書がほしい。	希望の図書を購入し、入居企業への貸し出しを行った。
動物飼育室の給気口より小さな虫が入ってくるので、何とかしてほしい。	給気口にフィルターを設置し、室内に侵入しないよう対策した。
動物飼育室内で使える踏み台を用意してほしい。	動物飼育室専用の踏み台を用意した。
動物飼育室の温湿度管理について、土日祝日や夜間は異常があっても気づけない。異常の時に担当者にメールを飛ばすシステムを導入してほしい。	対応できるシステムについて調査を行っている。
動物実験で向精神薬に該当する試薬を使用したい。その為、設置者登録申請書に付随する施設図面を提出してほしい。	米子保健所から聞き取りを行い、向精神薬利用に関する申請制度について入居者にレクチャーを行った。施設図面（施設概要、使用保管場所）を作成し、提出した。
アジア圏への販路拡大を計画しているので、専門展示会の情報を調べてほしい。	アジア圏のバイオ系展示会について情報収集し、海外ビジネス出展補助金制度や共同出展の提案を行った。
取引先から品質管理を求められている。については館内設置機器についての点検計画、点検記録を提供してもらえないか。	要望のあった資料提供を行った。
国内向けに入居者技術を発信してほしい。	医療系ベンチャー・トータルサポート事業（MEDISO）との共催による国内に向けての入居者技術セミナーを開催した。
プレートリーダーEnSightについて、保守管理点検記録・校正証明書が欲しい。	令和5年度に点検するための予算を計上し、点検を行う。校正証明書についてはメーカーが発行していないため、点検報告書で対応予定。

利用者からの積極的な評価
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成セミナーでは、腸内細菌叢と健康、細胞外小胞がもたらす新たな医学・生物学研究と社会実装への道、生命科学系研究者のためのわかりやすい生物統計等のシリーズ編が、知りたい情報が盛り沢山あり大変勉強になった。企画に対する工夫が感じられた。 ・BioJapan等商談会、展示会への出展支援等、企業PRを進めてもらい助かる。 ・動物飼育室の環境整備、機器の使用法や不具合に対する対応が迅速で有難い。 ・バイオ分野の動向やニーズ調査等について、役に立つ研究会やセミナー情報が大変参考となった。

9 指定管理者による自己点検

〔成果のあった取組み・積極的に取り組んだ事項〕
<p>●県による備品の更新<機器更新9機器> 機器老朽化に伴う買い替えを行い、専門的な解析機器については業界標準に対応した内容へとバージョンアップを行った。使用方法が変わった機器については、利用者へ向けた機器利用セミナーを実施した。</p> <p>●人材育成セミナーのメニュー拡張による充実 WEBセミナーの開催が主流となり、ニーズに即したテーマの講演を遠隔地の講師に依頼できた。また、当日参加できない場合や、繰り返し視聴を希望する受講者への要望に応え、期間限定のアーカイブ視聴を可能とした。受講者の参加人数は前年に比べ約2倍増となった。 セミナー 開催数 21講座（内、1回は機器PRセミナー） 受講者数 延べ1,459名（アーカイブ視聴も含む）</p> <p>●鳥取大学との連携強化 鳥大先進医療研究センターと月1回の定例会議で意見交換を実施し、鳥取大学との連携強化を図った。</p> <p>●高校生向けワークショップの実施で未来の研究者への人材育成</p> <p>①県内高校からの依頼された体験学習 ・米子東高校（11/3）・湯梨浜学園高校（12/7）・鳥取東高校（12/14） ②とっとりバイオフロンティア主催ワークショップ（定員4名）「抗体抗原反応で卵アレルギーの原因物質を探ろう」（3/28）</p> <p>●PR活動（事業支援）</p> <p>①入居企業セミナーの開催 MEDISO（株）三菱総合研究所：厚生労働省委託事業の共催で、とっとりバイオフロンティア入居者セミナー&出前相談会を行った。 テーマ：『染色体工学の「展望」とバイオベンチャーの資本政策』 日時：令和4年11月2日（水）13：30～15：30 形式：オンラインセミナー 内容：入居者講演・MEDISO支援紹介・アカデミア講演（同時進行：出前相談） 参加数：80名 アーカイブ配信視聴者数：165名（11月16日～12月7日）</p> <p>②バイオ系専門展示会への共同出展での販路拡大支援 ・「BioJapan2022」共同出展 入居企業1社 ・「第4回ファーマラボEXPO東京」共同出展 入居企業1社 ・「第3回ファーマラボEXPO大阪」共同出展 入居企業1社</p> <p>③「とっとり県民の日フェア」でとっとりバイオフロンティアのパネル展示を行った。 （県内、東部1カ所、西部1カ所 計2カ所）</p> <p>④地元ケーブルテレビ放送局およびYoutubeでの番組配信 番組名：中海チャンネル121「Road to 2030～SDGsで考えるふるさとのミライ～」 放送日：令和5年1月28日（土）10：00～10：30 配信形式：中海テレビ放送、Youtube中海テレビチャンネル（1年間配信） 内容：とっとりバイオフロンティア内の実験室の撮影や環境水を使った環境DNAの実験、入居企業のインタビュー等</p> <p>⑤地元ケーブルテレビニュースでのインタビュー出演 番組名：中海テレビニュース「モーニングスタジオ」 内容：科学ワークショップについて 放送日：令和5年2月28日（火）</p>

〔現在、苦慮している事項〕〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕
<p>〔現在、苦慮している事項〕</p> <ul style="list-style-type: none">・外壁の一部破損による全体的な調査あるいは修繕の必要性・屋上から天井や壁に入り込む雨漏りに対する修繕 <p>〔今後、改善・工夫したい事項・積極的に取り組みたい事項〕</p> <ul style="list-style-type: none">・医工連携の強化並びに販路開拓の海外展開に向けた海外視察・海外展示会等の支援・染色体医工学分野と異業種分野との連携を探る・高校生等の次世代研究者・技術者を創出するための人材育成セミナーの開催

10 施設所管課による業務点検

項 目	評 価	点 検 結 果
[施設設備の維持管理・緊急時の対応等] ○施設設備の保守管理・修繕 ○施設の保安警備、清掃等 ○事故の防止措置、緊急時の対応	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[施設の利用の許可、利用料の徴収等] ○利用の許可 ○適正管理に必要な利用者への措置命令 ○利用料金の徴収、減免の実施	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[その他管理施設の管理に必要な業務] ○利用受付・案内 ○附属設備・備品の貸出し ○利用指導・操作	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・県予算により9機種の機器を更新し、機器の機能が向上し利用促進に繋がった。また動物飼育室の微生物モニタリングを定期的に行い、SPFグレード相当の品質保証を行った。また遺伝子組換え実験安全委員会および動物実験委員会の運営を行い、コンプライアンスに沿った実験施設運営を行った。
[利用者サービス] ○開館時間、休館日、利用料金等 ○利用者へのサービス提供・向上策 ○施設の利用促進 ○個人情報保護、情報公開 ○利用者意見の把握・対応	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多人数が集まるセミナー開催から会場への聴講者参集を要しないWeb会議システムに変更するとともに、抗体、ワクチンなどトピック的な話題を盛り込み利用者に役立つセミナー開催に務めた。⇒セミナー開催21講座 受講者数1,459名(アーカイブ視聴含む)
[利用者総合支援業務の実施状況] ○利用者の研究開発及び事業化推進(事業計画、進捗状況把握等) ○利用者のニーズ把握、情報提供 ○人的ネットワークの構築 ○事業運営委員会等の運営	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・バイオ分野の動向(JBA創薬モダリティ基盤研究会・BVA等)やニーズを調査し、入居企業の事業推進に直接あるいは参考となる役立つ情報を適宜フィードバックし、事業支援を行った。 ・MEDISO(株)三菱総合研究所、厚生労働省委託事業)の共催で、とっとりバイオフィロンティア入居者に対して、鳥取大学染色体工学研究センター教授の講演、入居企業の事業PRを兼ねたセミナーを行うとともに、MEDISOから専門相談員を派遣いただき、入居者に対する相談会を開催した。
[バイオ人材育成事業の実施状況] ○人材育成カリキュラム作成・研修実施 ○広報等 ○事業評価、ニーズ把握、効果検証	4	○協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。 (コメント) ・バイオに関する知識や動物実験技術の向上、創薬、知的財産に関する講座等を開講し施設利用企業等が求める人材の育成を図った。(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、大人数が集まるセミナー開催から会場への聴講者参集を要しないWeb会議システムで実施)⇒セミナー開催21講座 受講者数1,459名(録画視聴含む)再掲。 ・県内高校向け科学ワークショップは(2回開催)は、バイオ実習等を通じて、探究学習に必要な「自ら発想する力」を育成し、先端機器を活用した研究開発の現場に接することで、バイオ技術の実際について具体的なイメージをつかみ、バイオ分野の研究に対して親しみを持てるような機会となった。 ・BioJapan2022、第4回ファーマラボEXPO東京、第3回ファーマラボEXPO大阪の展示ブースで、入居企業およびとっとりバイオフィロンティアに関するPRが広がった。
[収入支出の状況]	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[会計事務の状況]	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
[職員の配置] ○事業全体の総括責任者 ○染色体工学技術を中心としたバイオテクノロジーに関する専門知識を有する者 ○動物飼育に関する経験者 ○利用者の要望に応えられる体制	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

〔関係法令の遵守状況〕	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
総括	3	○おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。

《評価指標》 5：協定書の内容について高レベルで実施されており、また、計画・目標を上回る実績があり、優れた管理運営がなされている。
4：協定書の内容以上の適切な管理が行われており、計画・目標を上回る実績があった。
3：おおむね協定書の内容とおり適切な管理が行われており、計画・目標に近い実績を達成している。
2：協定書の内容に対して不適切な事項が認められ、また、計画・目標を達成していない。
1：協定書の内容に対し重大な違反事項が認められる、指摘済みの不適切事項が放置されている、

計画・目標 前年度実績を大きく下回っているなど、十分に改善を要する

※総括欄は、各項目の平均の小数点以下第2位を四捨五入した数値を基本に、総合的に評価する。